

「沖縄に行きたくなくなる2本!!」

in

福山駅前シネマモード

ナヴィの恋



2023年9月17日(日)

13:00~14:30

ナヴィの恋

14:30~14:50

アフタートーク

14:50~15:10

休憩

15:10~16:40

虹、結

16:40~17:00

アフタートーク

チケット：1本1500円、通し2500円

ナヴィの恋

祖父母の暮らす沖縄県・粟国島に里帰りした奈々子（西田尚美）。幼馴染みのケンジ（津波信一）が操縦する島への連絡船で、奈々子は白いスーツの老紳士を見かける。奈々子を迎えるナビィおばあ（平良とみ）とおじいの恵達（登川誠仁）。ひょんなことで恵達の家滞在することになった風来坊、福之助（村上淳）も交えてにぎやかな雰囲気。

だがなんとなくナビィおばあの様子が落ち着かない。奈々子が船で見かけた男性は、60年ぶりに島へ帰ってきたナビィおばあのかつての恋人・サンラー（平良進）だったのだ。島から追放されたサンラーが戻ってきたことで、東金城（あがりかなぐすく）家一同はユタ（吉田妙子）を囲んで大騒ぎになった。

監督：中江裕司

虹、結

自分の意見を伝えるたびに家族が壊れていく事に耐えられなくなった阜（高木七海）は、大阪の実家を離れ、東京で働いていた。周りの意見に従うだけの生き方に、世間の風は冷たく吹き付けた。

自分にも、周りの言葉にも閉塞的になる阜。偶然、沖縄人と結婚した幼馴染と再会すると、ぬくもりを求める様に沖縄へ旅立つ。一人で過ごすだけの阜は、海の前を見続けた。

移住者たちに紹介されたウチナーのおばあが、阜の魂に問いかける。「好きだから、怖いんでしょ？」勇気と想いを胸に、父（海道力也）の処へ向かった…。

『風が通り抜ける道』で沖縄のカフェ店員として登場する阜が、沖縄に移住する前の、もう一つの物語。上作で助監督を務めた大原誠式が脚本・監督をした。



虹、結
公式HP

FCSBC